



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1164						
科目名	教養特殊講義 4						
担当教員	上原 優香,太田 武雄,大寺 雅子,秦 光賢,松本 邦史,宮里 直也,米原 啓之						
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	前期				
曜日・時限	月 4						
講義室	1306	単位区分	選				
授業形態	講義	単位数	2				
科目大分類	総合教育						
科目中分類	総合基礎						
科目小分類	文化教養						
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード：学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D[市民的素養・市民的教養]市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP4-I[理解力・分析力]文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP7-C[他者理解・倫理観・公共心]人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 D1 市民的素養と参加（50%） C1 倫理的思考・社会認識（30%） I1 理解・分析と読解（20%）						
教員の実務経験							
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 1 萌芽期 ～ 2 進行期						
科目概要・キーワード	本授業では、「スポーツと〇〇」をキーワードに学部を超えた様々な専門領域を持つ担当教員が、多様な観点からスポーツに対する考え方や思考について、オムニバス等を含む様々な形式で授業を展開し、スポーツ領域の幅広い知識を学修します。授業は講義形式で行われ、資料・視聴覚教材も使用して実施します。なお、本講義は対面授業とオンライン授業（オンデマンド授業,live授業）を併用して展開されます。 ■キーワード スポーツと建築・スポーツと疾患・スポーツと歯学・スポーツとメンタル						
授業の趣旨	■副題 スポーツにかかわる多様な領域を理解するとともに領域横断的な専門的知識に触れ、スポーツの幅広い学識を習得しましょう。 ■授業の目的 現代ではスポーツをキーワードに様々な研究領域、研究分野が存在します。本講義は、スポーツにかかわる様々な領域・分野の存在を理解し、その幅広さや奥深さ、多様な視点を学修します。 ■授業のポイント 今年度は建築、疾患、歯学、メンタルといったキーワードをもとにそれぞれを専門とする他学部の教員による授業が展開されます。						
総合到達目標	■今年度はスポーツと、「建築、疾患、歯学、メンタル」に関連した専門的な知識を学習し、スポーツの領域、分野の見識を広げ、多様な視点からスポーツを考えることを目指します。 ・スポーツの多様な領域との関わりを理解することができる（第1回～第13回）。 ・本講義によって得られたスポーツの知識を整理することができる（第14回、第15回）。						
成績評価方法	■総合理解度レポート（20%）：適用ルーブリック D1・C1 （評価の観点）本講義を通して学習された内容を総括レポートとして実施し、評価します。 （フィードバックの方法）最終講義にてフィードバックを行います。 ■各担当教員の課題（80%（20%×4））：適用ルーブリック D1・C1・I1 （評価の観点）各担当教員が展開する授業内容の理解度について課題を提示し（小レポートなど）評価します。 （フィードバックの方法）各担当教員より課題に関する端的なフィードバックを行います。						
履修条件	特にありません。						
履修上の注意点	本講義は対面授業、オンデマンド授業、オンラインによるlive授業が混在する講義です。各授業回の前にclassroomを通じて授業形態に関する連絡が行われますので必ず確認してください。						
授業内容	<table><tr><th>回</th><th>内容</th></tr><tr><td>1</td><td>①授業テーマ ガイダンス(上原) ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。 ③予習（120分）シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分）ガイダンスによって説明された内容について再度シラバスを確認し、各テーマに基づく自身の知識について整理しておく。</td></tr></table>			回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス(上原) ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。 ③予習（120分）シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分）ガイダンスによって説明された内容について再度シラバスを確認し、各テーマに基づく自身の知識について整理しておく。
回	内容						
1	①授業テーマ ガイダンス(上原) ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。 ③予習（120分）シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分）ガイダンスによって説明された内容について再度シラバスを確認し、各テーマに基づく自身の知識について整理しておく。						

2	①授業テーマ スポーツと建築（1）（宮里） ②授業概要 建築の歴史とスポーツ施設で求められる大空間建築の歴史について理解を深めることができる（D1・C1）。 ③予習（120分）世界遺産に登録されている建築などについて各自で学習する。 ④復習（120分）講義で配布した資料をもとに興味を持った内容について概略をまとめる。
3	①授業テーマ スポーツと建築（2）（宮里） ②授業概要 スタジアムなどの大空間建築の現状について理解を深めることができる（D1・C1）。 ③予習（120分）前回の講義の際に案内された内容について、各自で学習する。 ④復習（120分）講義で配布した資料をもとに興味を持った内容について概略をまとめる。
4	①授業テーマ スポーツと建築（3）（宮里） ②授業概要 スポーツ施設の建築計画について理解を深めることができる（D1・C1）。 ③予習（120分）前回の講義の際に案内された内容について、各自で学習する。 ④復習（120分）講義で配布した資料をもとに興味を持った内容について概略をまとめる。
5	①授業テーマ 突然死する心臓病～家族を守るために何をすべきか～（秦） ②授業概要 生活習慣病の種類と発症する疾患について述べるができる（D1・C1）。 ③予習（120分）生活習慣病にはどのようなものがあるのか調べておく。 ④復習（120分）授業資料を確認し、生活習慣病と運動療法との関係を理解する。
6	①授業テーマ 突然死する大血管病～早期の対処療法とは～（秦） ②授業概要 大動脈解離、大動脈瘤のリスクについて述べるができる（D1・C1）。 ③予習（120分）大動脈解離と大動脈瘤にはどのようなものがあるか調べておく。 ④復習（120分）授業資料を確認し、大動脈疾患発症予防法についてまとめる。
7	①授業テーマ 高齢者のフレイル予防・免疫機能維持と運動療法（秦） ②授業概要 フレイルの概略を説明し、それに対する運動療法について述べるができる（D1・C1）。 ③予習（120分）免疫維持のためにはどのような方法があるか調べておく。 ④復習（120分）授業資料を確認し、フレイル・免疫維持のための運動療法についてまとめる
8	①授業テーマ アスリートと音楽家のメンタルヘルス（大寺） ②授業概要 アスリートと音楽家のメンタルヘルスに関する講義を行い、その関係性について理解することができる（D1・C1）。 ③予習（120分）アスリートのメンタルヘルスに関する文献やニュース記事などの中から自分の関心があるものに目を通しておく。 ④復習（120分）授業の内容をふまえて、自分のスポーツ活動やメンタルヘルスに関する課題を実施する。
9	①授業テーマ マインドフルネスとパフォーマンス不安（大寺） ②授業概要 パフォーマンス不安の問題に対するマインドフルネスの活用方法について講義と演習を行い実践することができる（D1・C1・I1）。 ③予習（120分）パフォーマンス不安に関する自らの体験について振り返っておく。 ④復習（120分）授業の内容をふまえて、マインドフルネスとパフォーマンス不安に関する課題を実施する。
10	①授業テーマ マインドフルネスとセルフ・コンパッション（大寺） ②授業概要 より良いパフォーマンスのためのセルフ・コンパッションについて取り上げ、マインドフルネスの活用方法について講義と演習を行い、実践することができる（D1・C1・I1）。 ③予習（120分）アスリートとしての自分に対する自己批判や完璧主義傾向について振り返っておく。 ④復習（120分）授業の内容をふまえて、マインドフルネスとセルフ・コンパッションに関する課題を実施する。
11	①授業テーマ 歯はアスリートのパフォーマンスアップに貢献できるか？（太田） ②授業概要 歯がアスリートに与える影響について、バレーボール日本代表選手の歯科健診・治療・実験を通して得られた知見をもって、「たかが…」と思われがちな歯の重要性を理解することができる。あわせて既存の組織内で、新規プロジェクト立ち上げ時に生ずる葛藤を説明することができる（D1・C1）。 ③予習（120分）歯式の表示、顎口腔系の解剖図を習得し、自身の競技時、並びに日常時における「くいしばり」について観察しておく。出来れば「アスリートも歯がいのち(図書館にて閲覧可能)」に目を通しておく。 ④復習（120分）授業で得た知識を活用し、自身のパフォーマンスアップを試みる。
12	①授業テーマ スポーツと顔面外傷（米原） ②授業概要 スポーツ時に受傷しやすい顔面外傷について、その原因や症状、対応方法を学修して、簡単な応急処置ができる（D1・C1・I1）。 ③予習（120分）自分自身または周囲のヒトが今までに受傷したケガについて、その原因、症状、治療、その後の経過について、思い出して簡潔に記録する。また、本やインターネットなどでその受傷したケガについて調べておく。 ④復習（120分）受講した後、予習において記録していたケガについて、自分の行った対処または受けた治療が適切であったかを確認する。また今後同様なケガに遭遇した場合の対応方法について、自身が出来るように知識を整理する。。
13	①授業テーマ スポーツと顎関節症（松本） ②授業概要 スポーツ時には歯をくいしばることが多く、顎関節に大きな負担があることが報告されている。この講義では、顎関節の解剖と顎関節症の原因や症状を学修して、予防方法を実践することができる（D1・C1・I1）。 ③予習（120分）自分自身の顎関節の部位の確認と、今まで顎関節部での症状について、その原因や症状、治療を受けていれば治療内容等思い出して簡潔に記録する。また、本やインターネットなどで顎関節症について調べておく。 ④復習（120分）受講した後、予習において記録していた顎関節症について、自分の行った対処または受けた治療が適切であったかを確認する。また今後同様な症状に遭遇した場合の対応方法について、自身が出来るように知識を整理する。
14	①授業テーマ これまでの講義内容に関する確認（上原） ②授業概要 これまで講義内容から到達目標にあるスポーツ関連領域の幅広さに関する確認を授業内レポートにて行う。（D1・C1・I1）。 ③予習（120分）これまでの講義内容を確認しておく。 ④復習（120分）確認テストにおける内容を再度整理しておく。
15	①授業テーマ 授業のまとめ（上原） ②授業概要 これまで学んだ内容に関して総括および第14回授業時のレポートの解説を行い、スポーツに関する領域や分野の幅広さや奥深さについて述べるができる（D1・C1）。 ③予習（120分）スポーツにおける領域・分野を調査しておく。 ④復習（120分）本講義で学習した知識が他の領域とどのように関わるのかについて整理しておく。

関連科目	教養特殊講義3（SSCS1163）
教科書	特にありません。
参考書・参考URL	授業時に案内します。
連絡先・オフィスアワー	◆オフィスアワー・連絡先 授業内容などの問い合わせは原則classroomおよびポータルサイトを通じて行います。
研究比率	



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.